

令和 6 年 6 月 17 日現在

機関番号：13801

研究種目：若手研究

研究期間：2021～2023

課題番号：21K13096

研究課題名（和文）日本近世における寺社領を手がかりとした領主支配・地域社会の関係とその比較史的研究

研究課題名（英文）A comparative historical study of the relationship between feudal lord rule and local society based on temple and shrine territories in early modern Japan.

研究代表者

松本 和明（Matsumoto, Kazuaki）

静岡大学・人文社会科学部・准教授

研究者番号：70825934

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 1,000,000円

研究成果の概要（和文）：近世朱印寺社・寺社領研究のため、主に山形宝幢寺関係文書と静岡臨濟寺文書について、デジタル写真撮影を中心とした史料調査を実施した。朱印寺社について、固有の寺中構造を明らかにし、そのうえで寺中改革や本山との折衝などといった動的側面や、ひとつの寺領村に即して寺領支配の実態を確認できた。また、千石を超えるような大規模寺領と、中規模といえる百石程度の寺領における、寺領支配や寺領規模に規定された寺社の動向をはじめ、隣接する武家領主との関係などといった諸点について、比較検討へむけての視座も獲得することができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

寺院史料と朱印地関係史料の分析から、寺中構造・寺領規模に規定された寺院の動きや朱印地支配の在り方など、朱印寺社・寺社領について総合的かつ立体的把握が可能となった点に学術的な意義がある。加えて、報告者所蔵史料について、177点を確認し、番号付与、中性紙封筒への封入、中性紙箱への格納を行い、デジタルデータ保存も完了した。大半が山形市内の鳥海月山両所宮の朱印地関係史料であり、嘉永期に宝幢寺と川原子村との間で生じた、水晶山の山論にかかわる川原子村の訴訟日記6冊も確認された。朱印地寺社研究への活用とともに、関係機関への寄託に向けての準備が完了した点に社会的意義がある。

研究成果の概要（英文）：In order to research early modern Shuin-ji shrines and temple/shrine territories, we conducted historical research mainly on documents related to Yamagata Houkyo-ji Temple and Shizuoka Rinza-ji Temple, mainly through digital photography. We clarified the unique temple structure of Shuinji and shrines, and was able to confirm dynamic aspects such as temple reform and negotiations with the head temple, as well as the actual state of temple territory control in the context of a single temple territory village. In addition, we will discuss various points such as the control of temple territories, the trends of temples and shrines defined by the size of temple territories, and the relationship with neighboring samurai feudal lords, in large-scale temple territories of over 1,000 koku and medium-sized temple territories of about 100 koku. I was also able to gain a perspective for comparative studies.

研究分野：日本近世史

キーワード：近世 朱印地寺社 寺領支配

1 研究開始当初の背景

近世朱印地寺社は全国に四千数百が規模の大小を伴いつつ散在する。この朱印地寺社についての研究は、三上参次・辻善之助・芝葛盛『社寺領性質の研究』(『東京帝国大学文学部紀要』1、1914年)を嚆矢として、社寺領上知と下戻をめぐる当時の訴訟への一見解として研究対象となり、主として朱印状文言分析や朱印地田畑についての分析がなされた。

戦後から長らく研究対象としては顧みられることは少なかったが、近年では保垣孝幸氏による一連の研究(たとえば、保垣孝幸「江戸近郊における『寺社領』の位置 近世『寺社領』論の前提として」〔竹内誠編『徳川幕府と巨大都市江戸』東京堂出版、2003年)において、幕府の政策意図と絡めつつ、寺社領自体の性格の再検討が目指され、林晃弘氏による一連の研究(たとえば、林晃弘「慶長期における徳川家康の寺院政策 学問料を中心に」〔『史林』95-5、2012年)においては、近世初期～前期にかけての幕府による寺社領安堵から当該期における政策の実態と意図を読み解こうとする試みがなされるなど、多様な視座から寺社領の読み解きが進んでいる。

かかる研究状況のなか、研究代表者は寺社領研究を進めていく過程で、寺院について寺中構造・寺領民・地域社会・領主支配関係などに規定・影響された多様な寺領の存在形態を想定し、多角的に、かつ共通性と差異性とに留意しながら比較検討を行うことを構想した。

2 研究の目的

本研究の目的は、朱印地寺院について、幕府の政策意図とは異なるレベルで、その特質を究明することである。そのために、主としては出羽国山形宝幢寺を事例とする。当該寺院の史料はもとより、寺領村・寺領民関係史料の調査を行い、比較の視点から静岡臨濟寺関係史料の調査をあわせて実施する。これにより、多角的かつ比較の視点も含めつつ朱印地寺院の研究を行う。

加えて、研究代表者が少しずつ購入を進めていたものの、未整理で経過していた出羽国山形の朱印地寺院関係史料の整理作業を行い、研究・保存に資することを目的とする。

3 研究の方法

(1)出羽国山形宝幢寺文書の調査。具体的には所蔵機関である国文学資料館にてデジタル撮影と翻刻作業を行う。(2)宝幢寺寺領・寺領民関係史料の調査。具体的には天童門前村役人家史料の所蔵機関である山形県立博物館と、寺領村史料の所蔵機関である山形大学附属博物館において、デジタル撮影と翻刻作業を行う。あわせて、天童門前村をはじめ寺領各村の現地踏査を実施する。(3)静岡臨濟寺関係史料の調査。2018年度～2020年度にかけて、静岡市と静岡大学との協働にて悉皆調査と目録作成は完了しているものの、デジタル撮影は未実施のため、関係史料のデジタル撮影と翻刻作業を実施する。

4 研究成果

宝幢寺文書については膨大な点数にのぼるため、各年度ごとに段階的に分析することを目指した。あわせて、毎年度臨濟寺文書の調査も実施した。翻刻作業については、研究代表者がその都度実施した。

(1) 令和3年度

山形県立博物館所蔵稲葉八兵衛家文書について、244点1,900コマの撮影を行った。同文書群は、宝幢寺が別当を務める天童愛宕神社の門前に所在した天童門前村の村役人家に伝来したもので、山形付近の西田表・中野郷、天童近在の天童郷にそれぞれ散在していた寺領のうち、天童郷支配の実態を繙くうえで必須の内容を含んでいる。門前村のみならず、天童郷所属の寺領について、当該地域に特徴的な質地関係文書が多く確認でき、寺領質地の実態が明らかとなった。なお、同文書群については、撮影データを所蔵機関へ寄贈した。

また、国文学資料館所蔵出羽国山形宝幢寺文書30点550コマの撮影も実施した。

(2) 令和4年度

寺領村関係史料の調査を実施した。具体的には、山形大学附属博物館所蔵文書のうち、青柳清兵衛家文書79点約1,500コマ、鯨洗文書8点約110コマ、久野本村文書1点6コマの撮影を行った。また、前年度から継続的に分析を進めていた寺領村の実態究明の前提として、寺中の態様を位置づける目的のもと、国文学資料館所蔵出羽国山形宝幢寺文書のうち、「当番帳」(役人・役僧が日々の出来事を記録)21点約4,400コマの撮影も行った。

天保期「当番帳」の一部について分析を進めた結果、借財と伽藍焼失からの立ち直りに苦慮していた住職昭洲が天保5年(1834)に寺中改革を実施したこと、その主目的が寺中・寺領支配の要であった寺役人家のコントロールにあったことなどを確認した。とくに、従来不明瞭であった寺役人家崑野氏の成り立ちについて、天童門前村役人今野氏を同年に「崑野」への改姓と苗字帯刀免許のうえ、新規の寺役人家として取り立てたことが明らかとなった点は、昭洲改革の性格と意義、寺領支配への影響を考えるうえで大きな意義を有している。

なお、同年度に宝幢寺領関係施設と天童近辺の寺領村の踏査を実施した。

(3) 令和5年度

前年度に続き、国文学資料館所蔵出羽国山形宝幢寺文書27点約6,500コマの撮影も行った。

近世後期における山形宝幢寺と静岡臨濟寺の寺領支配の実態について、比較の視点から分析を行った。その結果、宝幢寺においては、在山形の寺役人と天童門前村役人を核とし、各寺領には支配人を配置するといったかたちの寺領支配機構が確立していた。加えて、寺領灰塚村の土地移動問題を分析した結果、寺領所持者が当初より寺領民ではなく、かつ宝幢寺がその資金を投下して請戻しを行うにもかかわらず、何度も質入れが行われ、隣村の渋江村民が寺領所持者となって明治維新を迎える。近世期においては、年貢さえ納入されれば特段問題化しないまま推移したが、所有権が設定されると、近世期の在り方を含めて元宝幢寺住持との間で訴訟となる。かかる点から、近世期を遡及的に把握するならば、寺領とは年貢納入のみを媒介とした関係であり、村や所持者とは一程度遊離した存在としての、宝幢寺

という位置づけが可能である。

他方、静岡臨濟寺においては、まず寺領支配の機構が存在していない可能性を指摘できる。基本的に寺務を管掌する副司(ふうす)名義で寺領への布達や年貢納入が実施されているが、組織的な存在は確認できない。幕末期には「支配役」が設置されるものの、それまでは寺領大岩村の名主が確認できるのみである。しかし、門前に住居が集中するという地理的要因もあってか、法事・掃除への現夫・現物徴発を主とする門前家役が設定され、参道沿いの家々については垣根の手入れや石拾いが指示されるなど、寺と寺領民との関係が濃密であったことが確認できる。また、土地移動についても、惣百姓の合意のうえで臨濟寺へ報告が必要とされ、土地と所持者とが紐付けされている。

ただ、納入すべきは「年貢」とあるが、実態は小作料であり、この点は宝幢寺とも同様である。以前、宝幢寺領分析で筆者が提起した「領主 小作関係」が、規模の大小を問わず寺社領には該当するのではないかと考えられる。

これらのうち、差異については、寺領規模の差が大きく影響していると考えられる。宝幢寺は20ヵ村超で石高1,370石、対して臨濟寺は1ヵ村(大岩村)のうちの一部、石高100石にすぎず、寺領民も門前に集住している。

いっぽうで、寺領民であるか否かにかかわらず、双方とも寺領耕作者の問題については耕作権剥奪ないし戸メ・追放程度しか対処する方途を持たなかった点は共通する。ただし、武家領主支配とのかかわりを指摘すれば、宝幢寺は山形藩・天童藩にまたがるため(寺自体は山形藩、多数の寺領は天童藩に孕まれる)あまり両藩が寺領民処分に関与する事例はみられなかったが、臨濟寺においては、寺が駿府町奉行へ訴え、奉行所での審理が実施されるなど、同奉行と密接な関係がみられた。臨濟寺自身が肩書きに「駿府町御奉行支配」と付すことも、かかる関係を端的に示すと想定される。

以上、地域・寺領規模とも大きく異なる両寺について分析を実施したが、共通性と差異性の両側面が存在していたことが明らかとなった。これらのことは、近世における寺社領主の特質解明に大きく寄与すると考えている。

(4) 研究代表者所蔵史料の整理

購入時のまま未整理であった研究代表者所蔵史料について、すべて中性紙封筒へ封入のうえ番号を付し、中性紙箱への格納を行った。デジタルデータとしての保存も終えている。177点を確認した。そのうちの大半が山形市内の鳥海月山両所宮の朱印地関係史料(佐藤家)であり、嘉永期に宝幢寺と川原子村との間で生じた、水晶山の山論にかかわる川原子村の訴訟日記6冊も確認された。同山論関係史料については宝幢寺文書中にも複数確認できるため、比較検討を行う予定である。また、朱印寺社研究への活用とともに、関係する研究機関への寄託などの方途を考えている。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 0件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 松本和明	4. 巻 73-2
2. 論文標題 近世寺院の御免勤化願いとその実態 文政期における駿府臨濟寺の事例から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 人文論集	6. 最初と最後の頁 pp.1 ~ pp.28
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計1件

1. 著者名 塚田孝編	4. 発行年 2022年
2. 出版社 山川出版社	5. 総ページ数 358
3. 書名 新体系日本史 8 社会集団史	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------